

連載に当たって

大東亜戦争メモランダム

我が国の命運をかけて敢行された約8年に及ぶ大戦争を語るには、歴史学者でもなく、また当事者ですらない小生は、浅学菲才であり任重いことは重々承知していても、それでも何かを多くの方々に伝えたいとの沸々たる想いがある。余りにも一方的に断罪されている大東亜戦争だが、その実相はどうだったのか、小生の気になる事項に焦点を当て、1項目をA4で1枚でまとめて諸氏に提示し、ご叱正・ご教示を願うものである。

素より事実関係には慎重を期した積りですが、それでも誤謬や誤認識はあるのではと危惧しています。菲才故にと笑止下さればと愚考します。随所に小生の意見・所懐を述べていますが、掲載紙や小生が属している組織の意見を代表するものではないので諒として頂きたいと願う次第である。

尚、本連載は当面百話を目標に、老骨に鞭打ちたいと覚悟しています。

乞う、御期待。

令和元年 8月

山下輝男